



2024年5月15日

各 位

会社名 Chatwork株式会社
代表者名 代表取締役兼社長 山本 正喜
上級執行役員CEO
(コード番号：4448 東証グロース)
問い合わせ 取締役兼上級執行役員CFO 井上 直樹
先
ir@chatwork.com

過年度の有価証券報告書等の訂正報告書の提出及び過年度の決算短信の訂正並びに過年度決算における特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、本日、下記のとおり過年度の有価証券報告書等の訂正報告書を関東財務局へ提出するとともに、過年度の決算短信の訂正を行いましたのでお知らせいたします。

また、過年度決算の訂正に関連して、2023年12月期連結会計期間において、特別損失を計上いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 訂正の経緯及び理由

(1) 訂正の理由

当社は、2023年12月期決算につきまして、有限責任監査法人トーマツによる財務諸表監査及び内部統制監査により適正意見を得て、2024年3月28日に有価証券報告書を提出いたしました。

また、当社は、2024年2月21日付「公認会計士等の異動に関するお知らせ」にて公表いたしましたとおり、2024年12月期決算より新たにEY新日本有限責任監査法人による財務諸表監査及び内部統制監査を受けております。

2024年12月期第1四半期の四半期レビューの過程において、EY新日本有限責任監査法人より、当社連結子会社のChatworkストレージテクノロジーズ株式会社の株式取得時に識別した顧客関連資産について、2023年12月期決算において減損損失を計上すべきであったのではないかと指摘を受けました。

その後、有限責任監査法人トーマツとの確認を進める中で、訂正前の財務諸表等においては、顧客関連資産を同社の資産のグルーピングに含めずに減損損失の認識の判定を行っていましたが、同社の固定資産に係る会計基準の適用について改めて見直した結果、顧客関連資産を同社の資産のグルーピングに含めることが適切であり、且つ、同資産グループの主要な資産は、同社のビジネスの特性に鑑みてソフトウェアとすることが適切であると判断しました。その結果、減損損失の認識が識別され、減損損失の測定を行ったところ、顧客関連資産について全額減損処理する必要が生じたため、2023年12月期の財務諸表等を訂正することとしたものであります。

(2) 本日付で関東財務局に提出予定の訂正報告書等

有価証券報告書

2023年12月期 第20期 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

内部統制報告書

2023年12月期 内部統制報告書

(3) 本日付で公表した訂正決算短信
決算短信
2023年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

(4) 訂正による過年度の連結業績への影響額
今回の訂正に伴う業績への影響額は以下のとおりです。

【連結財務諸表】

(単位：百万円)

期間	項目	訂正前 (A)	訂正後 (B)	影響額 (B-A)	増減率 (%)
第20期 (2023年12月期) 通期	売上高	6,485	6,485	—	—
	営業利益	▲684	▲684	—	—
	経常利益	▲693	▲693	—	—
	親会社株主に帰属 する当期純利益	▲600	▲661	▲60	—
	総資産額	6,364	6,273	▲91	▲1.4
	純資産額	2,482	2,422	▲60	▲2.4

2. 過年度決算における特別損失の計上

(1) 特別損失の内容

当社連結子会社のChatworkストレージテクノロジーズ株式会社の株式取得時に識別した顧客関連資産につきまして、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき回収可能性を検討した結果、2023年12月期連結決算において減損損失91百万円を計上することといたしました。

なお、本件につきましては金額的重要性に鑑みて、2024年12月期第1四半期の計上ではなく、2023年12月期決算での遡及修正による計上が妥当と判断いたしました。

(2) 業績に与える影響

本件につきましては、2023年12月期の訂正決算短信となる本日開示の「2023年12月期決算短信〔日本基準〕(連結)」に反映しております。

また、本件による2024年12月期の連結業績予想に与える影響は軽微であると見込んでおりますが、今後の動向を精査し、業績予想修正の必要が生じた場合は速やかに開示いたします。

以上